日本共産党の地域新聞　発行所：日本共産党夕張市委員会　夕張市千代田２番地の１　Tel/Fax　52-3097　2015年10月18日（日）1511号　（1）

民報 ゆうばり

9月議会でくまがい桂子市議質問

さようなら原発・戦争！北海道集会

『市立診療所』『石炭博物館』の新たな指定管理公募について『地域おこし協力隊』の更なる活用で仕事づくりと移住促進を

9月10日より開催された9議会において、日本共産党のくまがい桂子市議は、1、「市立診療所の指定管理者について」2、「石炭博物館の運営等について」3、「地域おこし協力隊の更なる活用について」の三件について質問をしたので、その概要についてお知らせします。

◆　◆　◆

1、市立診療所の指定管理者募集について

質問1　新たに公募する指定管理者の公募要件である「初期救急医療体制の強化」とは、どのような内容か。

答弁1　市内の初期救急医療の中心的役割を担い、初期救急患者のスムーズな受け入れを強化する。そのために新たな補助を行う考え。

質問2　市民の継続雇用について、どう考えるか。

答弁2　市民の継続雇用は、可能な限り確保する。

質問3　在宅医療・整形外科について、どのように考えるか。

答弁3　訪問医療の充実発展と整形外科は週1回を上回る充実を求め、循環器内科など市民のニーズに沿った診療科についても協議する。

質問4　公募に際しての公平性・透明性の確保は。

答弁4　しっかりと情報をお伝えし、議会でご判断いただけるよう対応したい。

2、石炭博物館の運営等について

質問1　指定管理期間満了後、どこが運営にあたり方向性はどうするのか。また、修繕とその費用について。

答弁1　新たに公募する。石炭博物館再生プロジェクトとして、有識者の中で検討委員会を設置し、修学旅行など有効な活用を検討中。模擬坑道はH28年度に大規模改修、博物館本体は10月末までには耐震検査の結果がでる。老朽化が著しくH29年度を目途に大規模改修予定。さまざまな補助金を活用する予定。

質問2　展示内容と「友の会制度」、世界遺産登録と閉館施設の所蔵品については。

答弁2　再生プロジェクトにおいて方向性をまとめたい。

質問3　展示は石炭の歴史の他、多数の犠牲者を出しながらの石炭産出と、夕張の財政破綻等、地域の暮らしや歴史にも目を向けるべきでは。

答弁3　地域の歴史的な経過を後世に伝える施設。人々の生活とかかわりながら、つくられた炭鉱の歴史で、非常に貴重な歴史と考えている。

3、地域おこし協力隊の更なる活用について

質問1　定住移住の窓口・雇用づくりの担い手として、地域おこし協力隊の増員と、アドバイザー的な立場の支援員の活用を。

答弁1　市の業務のほか、他の仕事づくりにも地域おこし協力隊が参画し、夕張の魅力を発信することも可能ではないかと考えている。若者の交流や連携による起業支援、行政と連携した情報発信など、今後取り組む課題でも、来年度の地域おこし協力隊の有効な活用について検討したい。

さようなら原発・戦争！北海道集会に3千5百人！

10日、土曜日、戦争させない北海道員会・さようなら原発１０００万人アクション北海道委員会が主催する集会が札幌大通り公園でありました。

３５００人が参加した集会には、夕張からも参加しました。

原発は必要ですか。憲法違反の「戦争法制」は必要ですか。のよびかけに、若者やママの会などの、若い世代が参加しました。

戦争法は、強行成立させられましたが、平和と民主主義を求める人々の声は、ますます高まってきています。

いま、私たちはあらゆる階層の人々が、民主主義を求めて立ち上がっています。その中心は、若い世代であることが特徴です。

★日本共産党　夕張市委員会へのご連絡・ご相談はお気軽にどうぞ～　Tel/Fax：0123-52-3097　e-mail：jcp.yubari@gmail.com

JR問題緊急学習会

10月6日（火）、札幌かでる27で、JR北海道と交通政策を考える実行委員会主催の会議があり、夕張労連の阿部高さんが出席しました。赤字路線を廃止する方向でいるJR北海道は、夕張線についても、清水沢駅の無人化と十三里駅の廃止を打ち出しています。通学・通院がますます厳しくなっていくことが予想されます。

『南極観測』講演会＆映画上映会

10月10日、富良野芦別道立自然公園指定60周年事業として市民研修センターにおいて開催され、50人ほどが集まりました。

南極観測と地球温暖化について話す藤井理行さん

くずさんの夕張歴史散歩（35）

組織された坑夫のたたかい

明治38年の争議　②

もともと今度の賃上げ要求は、出炭量に応じて賃金がカットされていたのを、実質的には元の賃金に戻せというもので、また作業に絶対必要なもの例えば、坑内を照らすカンテラの油代なども天引きされ、鶴嘴の先の焼き入れ代やわらじ代まで自前では、賃金要求は至極当たり前の要求でした。

また米・味噌など一切の生活物資は、会社直営の取扱所（のちの分配所になる）でしか購入できず、南京米など粗悪品ばかり、しかも値段も炭鉱価格で高いとなれば、これまた当然の値下げ要求でした。

警察権力をかりて介入・弾圧

お互いに連携し合う主な坑口（のちの一鉱区（丁未区ともいう）では、5百人からの坑夫が入坑しない。当然出る石炭も大幅の減産となる。

慌てた会社は、米・味噌の値下げは若干譲歩したけれど、賃金引き上げは強硬に拒みつづけます。一方では、相変わらず警察権力を頼りにします。

会社の意を受けた警察は、つぎつぎと坑夫を呼び出し取り調べと称して、おどし圧力をかけつづけました。

会社の打った対策

そして会社は、他の炭鉱への飛び火を恐れて、すぐに対策にのりだします。この年四月、名ばかりで元の体制と変わりなかった「飯場」を実際に買収し、坑夫組織のよりどころを切り崩しにかかります。

七月には「鉱夫雇傭労役規則」を新たに設け、坑夫の身元調査をはじめ社会主義運動にかかわる者の入山をきびしくチェックしはじめました。

（つづく）

※訂正とお詫び【前号34文中8行目】1904年を1905年に

紙智子「国会かけある記」

日本共産党参議院議員

紙　智子

力を合わせて新たなたたかいへ

十月はじめに、畠山和也衆議院議員、森つねと国政相談室長とともに、札幌弁護士会や北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会などを訪問し、日本共産党の「国民連合政府」の提案を届け懇談するとともに、国への要望などもお聞きしました。

弁護士会からは「立憲主義を踏みにじる政府に対し、司法の分野で何が出来るのかいろいろ考えている」と話されました。さらに、政党、団体、個人との対話を広げたいと思います。

畠山和也さんを衆議院に送り出し、衆参の国会議員がそろう国政報告・懇談会が十一年ぶりに行われました。各団体から具体的な実情や、取り組み、国会議員団への要望がつぎつぎ出され、衆議院北海道ブロックで党の議席を勝ち取った重み、期待の強さがにじみ出た報告会になりました。こうした日常的な活動の積み重ねが、戦争法廃止の世論発展への力になります。

先日、衆参の農林水産部会（畠山、斉藤両衆議院議員と私と秘書で構成される）を開きました。一月に通常国会が始まり、途中から採用されてきた新人の秘書も含め、激動の国会を乗りきって、思うところを話していただきました。「国政は、野党のたたかいや世論に左右されるのですね」など、いろいろ語られましたが、TPP「大筋合意」をうけた新たなたたかいに向けた力強く新鮮なスタッフに勇気がわいてきます。